

平成23年度災害ボランティアバス運行助成事業実施要項

23.6.27

1. 趣旨

長崎県民が、東日本大震災で大きな被害を受けた地域で、その場・その時に現地で求められている活動を行うため、県内市町等が災害ボランティアバス等を運行した場合の経費を助成する。もって、県内の災害ボランティア活動の推進と東日本大震災にかかるボランティアの輪の広がりを図る。

2. 事業実施期間

平成23年6月27日～平成24年3月31日(終期は延長も含め、変更する場合がある)

3. 事業実施主体(事業申請対象団体)

- (1) 長崎県内各市町
- (2) 長崎県内に主たる事務所を置く非営利団体
- (3) 長崎県民で構成する一定人数規模以上のグループ

以上のいずれかに該当し、かつ(2)(3)においては以下の要件を満たす者であること。

特定非営利活動法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等の民間非営利組織・団体、あるいは被災地支援ボランティアの有志者により構成されるグループのいずれかであること。

著しく特定の個人又は団体の利益を図る活動を実施している組織・団体・グループではないこと。

宗教活動又は政治活動(政策提言活動は除く)を主たる目的とする組織・団体・グループではないこと。

暴力団もしくは暴力団員の統制の下にある団体・グループではないこと。

4. 事業要件

現地の災害ボランティアセンターからの要請又は受入れの了承があること。

ボランティア活動の原点である自己責任・自己完結を徹底するとともに、被災地との調整は自らの組織・団体・グループにおいて責任を持って行うものであること。

参加する長崎県民が、原則10名(貸切バス利用による運行の場合は概ね20名(下限18名))以上であること。

災害ボランティア活動が実働3日(離島発地の場合は2日)以上であること。

5. 支援の内容

1 実施主体(市町・団体・グループ)の1回の施行につき、以下のとおり支援する。

(1)対象経費

【貸切バス利用(運転士込み・燃料代込み)の場合】

貸切バス利用料

参加する長崎県民のボランティア活動保険料

【レンタカー利用の場合】

レンタカー利用料

燃料代

参加する長崎県民のボランティア活動保険料
【マイカー利用の場合】
燃料代
参加する長崎県民のボランティア活動保険料

(2) 支援限度額

【貸切バス利用（運転士込み・燃料代込み）の場合】

貸切バス利用料

支援対象経費（交付対象経費支出額から事業に伴う収入を差し引いた額）の10/10以内とし、上限1,200千円とする。

参加する長崎県民のボランティア活動保険料

天災B型にかかる経費の10/10以内。ただし、既に参加している者の経費は除く。

【レンタカー利用の場合】

レンタカー利用料

支援対象経費（交付対象経費支出額から事業に伴う収入を差し引いた額）の10/10以内とし、上限250千円とする。

燃料代

下記により算出される額とする。

$\frac{\text{片道走行距離 km ()} \times 2 (= \text{往復}) \times 15 \text{ 円 (ハイブリッド車は 10 円)}}{\text{ウェブページ「マップファン」}}$

における「ルート検索」機能で、発地の属する市町の「市役所（町役場）」と活動地の属する市町の「市役所（町役場）」間の距離による。

参加する長崎県民のボランティア活動保険料

天災B型にかかる経費の10/10以内。ただし、既に参加している者の経費は除く。

【マイカー利用の場合】

燃料代

下記により算出される額とする。

$\frac{\text{片道走行距離 km ()} \times 2 (= \text{往復}) \times 15 \text{ 円 (ハイブリッド車は 10 円)}}{\text{ウェブページ「マップファン」}}$

における「ルート検索」機能で、発地の属する市町の「市役所（町役場）」と活動地の属する市町の「市役所（町役場）」間の距離による。

参加する長崎県民のボランティア活動保険料

天災B型にかかる経費の10/10以内。ただし、既に参加している者の経費は除く。

6. 実施手順

災害ボランティア活動促進事業支援金交付要綱による。

(1) 交付申請

助成を希望する事業実施主体は、支援金交付申請書（様式第1号）に関係書類を添えて、支援申請を行うものとする。

なお、関係書類は以下に掲げる書類をいう。

事業計画書（様式第5号）

災害ボランティアバス等の「参加募集要項」又は「参加案内（呼び掛け）書」の写し

災害ボランティアセンターへ提出した申込書又は災害ボランティアセンターが発行した受付票の写し

自己申告書兼誓約書 但し市町の場合は不要

【以下、団体のみ添付】

団体・グループに関する調書（様式第5号）

申請団体の組織運営に関する規則（定款、規約等）。複数の非営利団体が共

- 同で企画実施する場合、各団体分を提出。(以下 ~ も同じ。)
申請団体の本事業年度の事業計画書(様式自由)
申請団体の本事業年度の収支予算書(様式自由)
【以下、大学生・短大生等を主体とする団体・グループの場合に添付】
所属する大学・短大等の学長又は学部長の推薦書

(2)支援対象者の選定

当財団において、具体性、実現性の視点により(1)の交付申請書を審査し、支援対象者を選定する。

(3)報告

支援対象者は、支援を受けた事業の終了した日から20日を経過した日または翌年度4月10日のいずれか早い日までに、実績報告書(様式第10号)に関係書類を添えて提出するものとする。

なお、関係書類は以下に掲げる書類をいう。

事業報告書(様式第14号)

災害ボランティアセンターへ提出した申込書または災害ボランティアセンターが発行した受付票の写し(交付申請時の添付が困難だった場合のみ)

貸切バス利用料金又はレンタカー利用料金にかかる見積書、請求書及び領収証の写し 当該時点で未払いの場合は、領収証の写しは後日速やかに提出すること。

ボランティア活動保険の領収書及び加入者名簿の写し

災害ボランティアバス等参加者名簿(参加者の氏名、住所のある市町名、年齢がわかるもの)

7. 支援額及び支払い方法

(1)支援額

採択となった事業について、支援金限度額の範囲内で決定する。

(2)支払い方法

事業終了後、事業実施主体からの事業報告書(様式第10号)及び請求書(様式第17号)の提出後支出する。

(3)各種助成金との併給調整

前記3の(2)(3)が実施主体となるとき、県・市町の行政による他の補助金(負担金、利子補給等)の対象になっている事業は、支援事業の助成対象とならない。ただし、他の補助事業の補助対象部分と非対象部分が明確に区分できる場合については支援の対象とすることができる。

財団法人県民ボランティア振興基金 理事長 様

申請者 住 所
団 体 名
代表者名

印

年度災害ボランティア活動促進事業支援金交付申請書

年度災害ボランティア活動促進事業について、災害ボランティア活動促進事業支援金 円を交付されるよう、災害ボランティア活動促進事業支援金交付要綱第 3 条の規定により、次の関係書類を添えて申請します。

関係書類
事業計画書 (様式 号)

(注) 「事業計画書」は、事業内容に応じて、様式第 2 号から様式第 5 号のうち、必要な様式を添付すること。

災害ボランティアセンター支援事業計画書
貸切バス利用 レンタカー利用 マイカー利用 該当にレ

1. 事業内容

発地市町		活動先市町	県 市・町	参加人数	名
運行バス会社名 又は レンタカー会社名					
活動期間	年 月 日 ~ 年 月 日				
活動内容	1. 行程				
		月 日	内 容		
	1日目	月 日			
	2日目	月 日			
	3日目	月 日			
	⋮	月 日			
		月 日			
		月 日			
	2. 現地での活動内容（具体的に）				
	3. 役割分担				

2. 団体・グループに関する調書

項 目		内 容	
団体名 グループの場合は記載不要			
団体の所在地 同上			
TEL / FAX			
代表者	氏名		
	住所		
設立年月日 グループの場合は記載不要		年	月 日
団体の設立目的 同上			
会員数 同上		人	
これまでの主な活動			
今後の活動予定・方針			
団体の財政規模 (各会計年度の総支出額) グループの場合は記載不要		前々年度決算額	円
		前年度決算額	円
		今年度予算額	円
他の団体等からの資金助成又は委託の実績 (過去3カ年) 同上			

複数の団体が共同で実施する場合は、各団体分を提出してください。

3. 事業に要する経費

収入 (A) (単位:円)

費目	金額	経費の内訳 単価、数量、回数等をわかりやすく記入してください。
事業に伴う収入		

支出 (B)

費目	金額	経費の内訳 (単位:円) 単価、数量、回数等をわかりやすく記入してください。
貸切バス利用料		
レンタカー利用料		
燃料代		当振興基金において定める額による。 片道走行距離 () _____ km × 2 × 15(10)円 = _____ 円 (円未満切り捨て) ハイリッド ウェブページ「マップファン」における「ルート 検索」機能で、発地の「市役所(町役場)」と活 動地の「市役所(町役場)」の間の距離をお求め ください。
保険料		
支出合計		

支援金交付申請額 (千円未満切り捨て) $\{ (B) - (A) \} \times 10/10$ 以内 但し、「貸切バス 1,200 千円」「レンタカー 250 千円」が 上限額 ボランティア活動保険は天災 B 型	円
--	---

(関係書類)

災害ボランティアバス等の「参加募集要項」又は「参加案内(呼び掛け)書」の写し
 災害ボランティアセンターへ提出した申込書又は災害ボランティアセンターが発行
 した受付票の写し

自己申告書兼誓約書(別紙) 但し、市町の場合は不要

【以下、団体のみ添付】

申請団体の組織運営に関する規則(定款、規約等)複数の非営利団体が共同で企画
 実施する場合、各団体分を提出すること。(以下 ~ も同じ。)

申請団体の本事業年度の事業計画書(様式自由)

申請団体の本事業年度の収支予算書(様式自由)

【以下、大学生・短大生等を主体とする団体・グループの場合に添付】

所属する大学・短大等の学長又は学部長の推薦書(様式自由)

自己申告書 兼 誓約書

1. 下記の事項に該当することを申告します。
(欄にチェックを入れてください。)

特定非営利活動法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等の民間非営利組織・団体、あるいは被災地支援ボランティアの有志者により構成されるグループのいずれかであること。

著しく特定の個人又は団体の利益を図る活動を実施している組織・団体・グループではないこと。

宗教活動又は政治活動（政策提言活動は除く）を主たる目的とする組織・団体・グループではないこと。

暴力団もしくは暴力団員の統制の下にある団体・グループではないこと。

2. 上記1の申告が虚偽であることが判明した場合には、交付された支援交付金の返還に異存ありません。

また、今回の申請にかかる事業の実施にあたっては、

ボランティア活動の原点である自己責任・自己完結を徹底するとともに、被災地との調整は自らの組織・団体・グループにおいて責任を持って行うものであること

参加者に対して、(財)県民ボランティア振興基金からの助成を受けて実施する事業であることを周知すること

現地活動にあたっては、可能な限り長崎県内からのボランティアであることがわかるような工夫を行うこと

をここに誓約します。

組織・団体・グループ名

代表者

印

年 月 日

財団法人県民ボランティア振興基金 理事長 様

申請者 住 所
団 体 名
代表者名

印

年度災害ボランティア活動促進事業支援金実績報告書

年 月 日付け、 ボ振基第 号で交付の決定の通知があった 年度災害ボランティア活動促進事業支援金について、災害ボランティア活動促進事業支援金交付要綱第9条の規定により、その実績を関係書類を添えて報告します。

関係書類

1. 事業報告書(様式第 号)
2. 支出証拠書類
3. 実施状況を示す写真
4. その他の関係書類

(注) 1. 「事業報告書」は、事業内容に応じて、様式第10号から様式第13号のうち、必要な様式を添付すること。

2. 「支出証拠書類」は、支援金の対象となった経費のうち、1件の支出金額が3万円を超えるものの領収書等を添付すること。

3. 「その他の関係書類」は、各様式中に指定した「その他の関係書類」を添付すること。

災害ボランティアセンター支援事業報告書
貸切バス利用 レンタカー利用 マイカー利用 該当にレ

1. 事業内容

発地市町		活動先市町	県 市・町	参加人数	名
運行バス会社名 又は レンタカー会社名					
活動期間	年 月 日 ~ 年 月 日				
活動内容	1. 行程				
		月 日	内 容		
	1日目	月 日			
	2日目	月 日			
	3日目	月 日			
	⋮	月 日			
		月 日			
		月 日			
	2. 現地での活動内容(具体的に)				
	3. 役割分担				

2. 事業に要した経費

収入 (A) (単位:円)

費目	金額	経費の内訳 単価、数量、回数等をわかりやすく記入してください。
事業に伴う収入		

支出 (B)

費目	金額	経費の内訳 (単位:円) 単価、数量、回数等をわかりやすく記入してください。
貸切バス利用料		
レンタカー利用料		
燃料代		当振興基金において定める額による。 片道走行距離 () _____ km × 2 × 15(10)円 = _____ 円 (円未満切り捨て) ハイリッド ウェブページ「マップファン」における「ルート 検索」機能で、発地の「市役所(町役場)」と活 動地の「市役所(町役場)」の間の距離をお求め ください。
保険料		
支出合計		
支援金要望額 (千円未満切り捨て) { (B) - (A) } × 10/10 以内 但し、「貸切バス 1,200 千円」「レンタカー 250 千円」が 上限額 ボランティア活動保険は天災 B 型		円

(関係書類)

1. 災害ボランティアセンターへ提出した申込書または災害ボランティアセンターが発行した受付票の写し(交付申請時の添付が困難だった場合のみ)
2. 貸切バス利用料金又はレンタカー利用料金にかかる見積書、請求書及び領収証の写し
要望時点で未払いの場合は、領収証の写しは後日速やかに提出すること。
3. ボランティア活動保険の領収書及び加入者名簿の写し
4. 災害ボランティアバス等参加者名簿(氏名、住所のある市町名、年齢がわかるもの)

様式第 17 号 (第 11 条第 1 項関係)

年度災害ボランティア活動促進事業支援金交付請求書

金 円

年 月 日付け、ボ振基第 号で額の確定の通知があった 年度災害ボランティア活動促進事業支援金を上記のとおり交付されるよう、災害ボランティア活動促進事業支援金交付要綱第 11 条第 1 項の規定により、請求します。

年 月 日

財団法人県民ボランティア振興基金 理事長 様

請求者 住 所
団 体 名
代表者名

印

交付決定額 円

既 払 額 円

今回請求額 円

【振込先】

金融機関名	
支店名	
口座種別	普通 ・ 当座 (いずれかに をつける)
口座番号	
(刀がナ) 口座名義人	